

生徒指導だより

佐渡市立相川中学校
生徒指導部
7月21日(水)発行

○6月の「いじめ見逃しゼロ強調月間」に関する取組の紹介

○今年度も「いじめ」に関する意識調査を行いました。

<相川中学校「学校生活アンケート結果」>

1 相川中学校に「いじめ」はあると思いますか。

【 思う：18% 思わない：21%
分からない：61% 】

2 「いじめ」はなくすことができると思いますか。

【 思う：42% 思わない：28% 分からない：30% 】

3 「いじめ」は、どんな理由があってもいけないと思いますか。

【 思う：80% 思わない：3% 分からない：17% 】

4 もし「いじめ」を見たら、解決に向けて動くことができますか。

【 できる：43% 気持ちはあるができない：49% できない：8% 】



良かった点としては、「いじめ」はいけないと考える生徒が多くなり、意識が高まったことです。また、「いじめ」を止めるために積極的に動こうと考えている生徒も増えてきました。

学年委員会では、この結果をもとに各学年の問題点を考えました。そして、学級ごとに解決すべきテーマを考え、話し合いを行いました。

1年生の問題点

「いじめ」について無関心な人が多い。

話し合いのテーマ

「いじめ」を見たら、本当に解決に向けて動くことができるのか。

話し合いのまとめ

「大切な友だちを見捨てるのはいやだ」「助けたいという気持ちはある」反面、「こわい」「自分がやられてしまう」という考えもあった。「みんなで動く」「協力して解決する」「大人に相談する」ということで解決できると考えた。

2年生の問題点

度が過ぎた「イジリ」がある。

話し合いのテーマ

いろいろな考え方の人がいる中で、本当にいじめをなくすことができるのか。

話し合いのまとめ

「人の気持ちを考えて、言葉遣いを整える。」ことが大切である。

3年A組の問題点

「いじめ」はなくすことができないと考えている人が一定数いる。

話し合いのテーマ

いろいろな考え方の人がいる中で、本当にいじめをなくすことができるのか。

話し合いのまとめ

「見て見ぬふりをしない」「言動に移さず、自分の中でとどめる」「自分の言葉や行動に責任をもつ」「いろんな考え方があることを理解して、相手を否定しない」といったことを心がけることで、「いじめ」はなくなると考える!

3年B組の問題点

「いじめ」に限ったことではないが、「傍観者」がいる。

話し合いのテーマ

「いじめ」はどうすれば起きないのか。起こったらどうすれば解決できるのか。

話し合いのまとめ

相手の気持ちを考えることが重要。そして「いじめかな」と思ったら第三者が勇気を出して解決に動こう!

各クラスで、真剣に「いじめ」について考え、活発に意見を交わしていました。これらの話し合いの結果は、6/28(月)の生徒朝会で発表されました。

いじめに関していろいろな立場があり、いろいろな考え方があることがわかりました。しかし、「相手の気持ちを考えること」「見て見ぬふりをしないこと」の大切さを確認することができました。時には、相手が嫌な気持ちになっていることに気が付かないことがあるかもしれません。「いじめかもしれない」と感じた人が動くことで、救われる誰かがいるのではないのでしょうか。



○夏休みに入るに当たって

今年度の夏休みの期間は35日です。昨年よりも休みが長く、ご家庭で過ごす時間が増えます。いつも見せない表情や姿などありましたら、声をかけていただきたいと思います。下記のチェックポイントを参考に、夏休み前後のお子様の様子をご確認ください。

<夏休み前後で、こんな変化はありませんか？>

～ 家庭での20のチェックポイント ～

- これまで関心のあったことに対する興味がなくなった。
- 物事に集中できなくなった。
- 成績が急に落ちた。
- 簡単にできていたことができなくなった。
- 不安やイライラが増えて落ち着きがなくなった。
- やる気がなくなったり、投げやりな態度が目立つようになったりした。
- 元気がなく、ぼんやりしていることが多くなった。
- 不自然なほど明るく振る舞ったり、気をつかったりするようになった。
- 自分を傷つける行為を行うようになった。
- 不眠、食欲不振、過食、体重減少、だるさなどの体の不調が続いている。
- 朝、起きられなくなったり、学校に行きたくなくなったりした。
- 友達との付き合いを避けたり、一人でいたりすることが多くなった。
- 外出をしなくなったり、引きこもりがちになったりした。
- 無断外出したり、帰宅が遅くなったりするようになった。
- 他人や動物をいじめるようになった。
- 事故につながる行動をたびたび起こすようになった。
- 突然悲しくなって涙が出たり、声に出したりすることが多くなった。
- 長い間会っていなかった人に、突然会いに行ったり、電話をかけたりした。
- 大切にしていたものを、人にあげたり処分したりした。
- 「死にたい」などの言葉を、書いたり口に出したりすることが多くなった。



新潟県教育委員会「相談窓口の紹介」パンフレットより

お子様のことで悩み事があれば中学校までご相談ください。「こんなことぐらいで」と思われずに、気がかりなことがありましたらご相談ください。